

## 令和4年度 学校評価報告書

### 1 教育目標及び本年度の努力点

教育目標	<p>1 基本的な生活習慣を身につけ、健康な生活を送るための心と体の基礎をつくる。</p> <p>2 たしかな学力と豊かな教養を身につけ、それぞれの目標に向けて意欲的に取り組む姿勢を養う。</p> <p>3 ものづくりを通して技術・技能の基本を習得し、課題解決に向けて自ら学び続ける態度を身につける。</p> <p>4 ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事を通じて、自他を尊重し、協働によって粘り強く対話する力を育てる。</p>
本年度の努力点	<p>1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得。</p> <p>2 自他の命を大切にし、自他の存在を尊重する態度の育成。</p>

### 2 評価結果の概要

対象	項目	具体的方策	評価結果と課題、次年度への改善策等
生徒指導	<p>○基本的な生活習慣の確立</p> <p>○自他の生命や存在を尊重する態度の育成</p>	<p>○全職員の共通理解と生徒の多様性に対応した指導</p> <p>○外部講師による「自殺予防講話」の実施</p>	<p>○全職員による情報共有をもとに、生徒一人ひとりに対するきめ細やかな継続的指導を心掛けてきた結果、多くの生徒が学校生活に定着し、学校全体が落ち着いた状況にある。</p> <p>○11月に外部講師による「自殺予防講話」を実施し、自他の生命や存在を尊重する態度の育成に努めた。また、誰もが誰かのゲートキーパーになり得ることを学ぶことができた。今後も、様々な視点からの取り組みを行っていく。</p>
学習指導	<p>○基礎的・基本的な学習内容の定着化</p> <p>○基本的な技術・技能を身につけた、工業人の育成</p>	<p>○第1学年に学校設定科目「生活教養」、および「工業情報数理」を習熟度別で実施</p> <p>○きめ細かな指導をするために、少人数で編制した班で実習を実施</p>	<p>○学び直しやつまづきやすい所を重点的に学習し、基礎学力の定着を図ることができた。「学びの基礎診断」「基礎学力指導」を通じて、学びに向かう姿勢を育成することができた。</p> <p>○ものづくりの楽しさや作品完成の感動を実感し、自ら進んで学ぶことができた。特に、安全作業について、徹底的に理解する指導により、けがや事故の無い実習が行えたため、次年度も継続して取り組んでいく。</p>
進路指導	<p>○進路目標の確立と実現に向けての指導</p> <p>○確実な進路指導</p>	<p>○進路講話の充実と図書室の利用</p> <p>○進路の進度をスタンプラリー形式にすることにより、共通理解を図った。</p>	<p>○進路講話を1・2年には「自己肯定感を高めて将来の夢や目標を考える」、3・4年には「就職に向けての心構え」という内容で開催した。図書室の進路コーナーを活用し、生徒が各自で進路学習ができるようにした。</p> <p>○進路の手引きの利用を各担任に任せたが、HRの利用を含め生徒会との連携や、キャリア教育の時間設定も今後考えていく。</p>

### 3 アンケート等実施状況及び評価結果の公表について

アンケート	<p>5月 生徒生活実態調査実施</p> <p>7月 学校生活に関するアンケート①</p> <p>12月 学校生活に関するアンケート②</p> <p>2月 学校評価アンケート</p> <p>3月 学校生活に関するアンケート③</p>	結果公表	<p>6月 P T A 総会において報告</p> <p>11月 学校評議員会において報告</p> <p>2月 名古屋市高等学校定時制教育振興会実態調査委員会にて定時制の生徒調査の分析結果を報告</p> <p>2~3月 校務分掌自己評価</p> <p>3月 ホームページに評価報告書を掲載</p>
-------	--	------	---